ST 通信

第 32 号

６月に入り、雨の日が増えてくると、ちょっと散歩に出かけてみたり、公園で遊んでみたりといったことが難しくなり、子どもたちもすっきりしない日がでてくると思います。そんな中でも、自分の大好きな傘や長靴を履いてでかけてみたり、かたつむりやカエルなどを見つけてみたり、子どもたちが楽しいと思えることを見つけながら過ごしていけるといいですね。

～言葉遊びの時間～

最近、子どもたちがお友だちの名前を呼んでくれる場面が増えてきています。これは言葉を覚えられてきただけでなく、子どもたちの関心を向ける先が、外の世界へと広がってきていることでもあると思います。

発達のおはなし　～自我について～

自我が発達し始めると、「自分でしたい」「いや」など、自己主張する場面が増えてきます。思いが強まると、他者とぶつかり合うことも出てきますがが、この時期は、どれだけ自分の思いが叶うのか、試している時期でもあり、他者と折り合いをつけることを学べる大切な時期でもあります。そのため、子どものいうことを聞き入れるだけになったり、「それはだめ」と大人の思いを一方的に押しつけることにならないようにすることが大切です。具体的には、「〇〇がしたいの」でも「〇〇の方がいいと思うよ」など伝えてみて、相手にも思いやつもりがあることに気づいてもらい、最後は‘自分でできた、決めた’という気持ちを感じられるようにしてあげることが大切です。